

令和 5 年度 事業報告書

(自 令和 5 年 4 月 1 日)

(至 令和 6 年 3 月 31 日)

社会福祉法人はなさき仙北

令和5年度 法人本部 事業報告書

1. 概況報告

法人の運営にあたっては、仙北市から格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

平成28年度に運営を開始してから8年目となる今年度は、昨年度に続き5園の認定こども園を運営することになりました。この1年間、大きな事故等もなかったことは、ひとえに保護者の皆様のご理解とご協力の賜と重ねて感謝申し上げる次第であります。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、園での行事等も通常開催が可能となりました。今年度の園行事では、一部で大雨による延期もありましたが、約3年ぶりに、直に園児を見ながら、その成長を実感された保護者の皆様の笑顔がとても印象的でした。

他方、県内でのクマによる人身被害が過去最多となり、園の近くでもクマの目撃情報が頻発し、園児の安全確保のため奔走し、その対応に努めてきました。

6月には、ひのきないこども園に在園しているお子さんの突然の訃報に、大きな衝撃を受け、深い悲しみに覆い尽くされました。改めて、お悔やみを申し上げます。

8月には、医療的ケア児の受け入れを市から打診され、令和6年度からの受け入れに向け、看護師を採用して、その準備を進めてきました。

また、新年度に予定している「給食におけるご飯の提供」、「保育料の無料化」、「病児(後)保育のための実施設計」にかかる予算を計上しています。

法人運営には、市からの支援が不可欠ですが、市の財政もひっ迫していることから、より一層の経費節減が求められています。さらに、想定をはるかに超えた加速的な少子化により、園の存続さえも懸念されるところです。こうしたことから、職員の勤怠管理システムの導入や電話の光回線への改修、こまめな消灯による節電など、事務経費の節減に努めました。各園の利用定員に対する充足率、重点的に取り組んだ事業等については、以下のとおりです。

(1) こども園の運営(利用定員)

① だしのこ園	利用定員 1号認定9人、2号・3号認定90人、計99人 利用定員に対する充足率 1号認定 40.7%、2号・3号認定 97.7%
② 神代こども園	利用定員 1号認定9人、2号・3号認定67人、計76人 利用定員に対する充足率 1号認定 14.8%、2号・3号認定 95.9%
③ にこにここども園	利用定員 1号認定6人、2号・3号認定56人、計62人 利用定員に対する充足率 1号認定 19.4%、2号・3号認定 107.6%
④ ひのきないこども園	利用定員 1号認定3人、2号・3号認定20人、計23人 利用定員に対する充足率 1号認定 8.3%、2号・3号認定 79.2%
⑤ 角館こども園	利用定員 1号認定12人、2号・3号認定152人、計164人 利用定員に対する充足率 1号認定52.8%、2号・3号認定 102.6%

以下、一時預かり事業及び地域子育て支援拠点事業(子育て支援ルーム)の実績については、各園の事業報告書をご覧ください。

2. 本部の運営並びに事業の状況

(1) 職員の人材確保、育成に向けた取り組み

今年度限りで市から7名の保育教諭の派遣が終了したほか、退職者も12名(うち定年前退職者6名)となり、年度末では19名の職員が減少しました。年度当初の職員数171名でしたので、年度末では152名の職員となりました。

このため公募による採用試験により、正職員として保育教諭4名(うち1名は新卒者、3名は法人準職員なので純増1名)の採用をしたほか、準職員として7名(保育教諭4名、看護師1名、保育補助2名)の計11名(純増8名)の採用し、運営に支障を来たさないように努めました。令和6年度からは160名の職員体制となる予定です。

令和5年度職員採用試験(保育教諭)の申し込み状況は、申し込み応募者数18名でした。最終的に4名の採用を内定し、うち1名が新卒者、3名が当法人の準職員でしたので、正職員の保育教諭は1名増です。

教育・保育の質の向上のための研修機会を可能な限り確保するとともに、研修で得た知識や技術を保育の現場へ反映することに努めました。特に、法人独自の研修「はなさき仙北研修会」では、保育教諭の情報交換及び資質向上を目指し、3期に分けて学年担任別に研修(延べ参加者人数252名)を実施し、活発な意見交換を行いました。

職員研修の参加実績については、各園の事業報告書をご覧ください。

(2) 組織の強化について

定期的な園長会議7回、副園長会議2回、職種別情報交換会4回を開催し、本部と各園との連携及び運営について情報共有に努めました。

保育教諭対象の各種研修に参加するほか、苦情処理研修やロープワーク教室なども活用し、法人職員全体のスキルアップに努めました。

(3) 魅力あるホームページの更新

ホームページの充実のために、担当者の研修を開催し、各園におけるタイムリーな活動や情報の発信に努めました。

(4) 施設の維持管理について

各施設の老朽化に伴い、修繕等が必要な個所が増えています。市の財政もひっ迫しているなか、限られた予算の範囲となりますが、各施設での修繕については、迅速に対応し、園児の安全、安心を最優先した生活環境の提供に努めました。

加速的な少子化により、園児の減少に歯止めがかからない現実を踏まえ、今後の施設管理における抜本的なあり方が課題であり、こうした現状を市の担当部署と情報共有に努めました。

3. 理事・監事・評議員

令和5年度の理事(7名)、監事(2名)、評議員(8名:欠員1)は次のとおりです。

理事長 武藤 清茂

理 事 坂本 佐穂、眞崎 勲、佐川 俊也、伊藤 州子、大山 肇浩、松田 良子

監 事 田口 和典、藤村 好正

評議員 草薨 悟、加藤 隆政、糸井 ミエ、高橋 日子、佐藤 節子、中本 義範、羽川 茂幸
大沢 純子

4. 評議員会の開催状況

第1回 定時評議員会 令和5年6月20日(火) 午前10時00分

開催場所 仙北市西木総合開発センター 集会室

評議員出席者6名/定数9名(1名欠員)・監事出席者2名/定数2名

〈議事〉

第1号議案 令和4年度計算書類及び財産目録の承認について(原案承認)
令和4年度事業報告・監査報告(決算監査)

第2～10号議案 次期役員の選任について(原案承認)

〈報告〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果について
- (4) 理事長専決事項について
- (5) 理事会決議事項について
- (6) 予備費の使用について

5. 理事会の開催状況

第1回(定例会) 令和5年6月2日(木) 10時00分

開催場所 仙北市西木総合開発センター 集会室

理事出席者5名/定数7名・監事出席者1名/定数2名

〈議事〉

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算の承認について(原案承認)
監査報告

第2号議案 だしのご園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第3号議案 神代こども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第4号議案 にこにここども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第5号議案 ひのきないこども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第6号議案 角館こども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第7号議案 休暇等に関する規程細則の一部改正について(原案承認)

第8号議案 準職員就業規則の一部改正について(原案承認)

第9号議案 役員等賠償責任保険契約について(原案承認)

第10～18号議案 次期役員候補者の選考について(原案承認)

第19号議案 定時評議員会の招集について(原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

経過報告

(1) 監事の監査結果について

(2) 理事長専決事項について

(3) 予算の流用について

第2回(臨時会) 令和5年6月20日(火) 14時00分

開催場所 仙北市西木総合開発センター 集会室

理事出席者6名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第20号議案 理事長の選定について(原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

(1) 経過報告

(2) 理事長専決事項について

第3回(臨時会) 令和5年10月4日(水) 14時00分

開催場所 仙北市西木総合開発センター 集会室

理事出席者6名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第21号議案 職員採用試験第一次試験合格者の決定について(原案承認)

第22号議案 令和5年度10月補正予算について(原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

(1) 経過報告

(2) 監事の監査結果について

(3) 理事長専決事項について

第4回(臨時会) 令和5年11月8日(水) 14時00分

開催場所 仙北市西木総合開発センター 集会室

理事出席者6名／定数7名・監事出席者1名／定数2名

〈議事〉

第23号議案 職員採用試験第2次試験合格者の決定について(原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

(1) 経過報告

(2) 予備費の使用について

第5回(定例会) 令和5年11月30日(木) 10時00分

開催場所 仙北市役所西木庁舎 201会議室

理事出席者5名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第24号議案 令和5年度11月補正予算について(原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 理事長専決事項について

第6回(定例会) 令和6年2月27日(水) 9時00分

開催場所 仙北市西木総合開発センター(農林研修室)

理事出席者5名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第25号議案 だしのこ園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)

第26号議案 神代こども園園則(運営規程)の一部改正について

第27号議案 にこにここども園園則(運営規程)の一部改正について

第28号議案 ひのきないこども園園則(運営規程)の一部改正について

第29号議案 角館こども園園則(運営規程)の一部改正について

第30号議案 就業規則の一部改正について

第31号議案 給与規程の一部改正について

第32号議案 準職員就業規則の一部改正について

第33号議案 休暇等に関する規程の一部改正について

第34号議案 休暇等に関する規程細則の一部改正について

第35号議案 令和5年度2月補正予算について

第36号議案 令和6年度事業計画及び令和6年度資金収支予算について

第37号議案 園長の選任について

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 理事長専決事項について

6. 役員会の開催状況

第1回 令和5年7月18日(月) 15時00分

開催場所 仙北市役所西木庁舎 201会議室

理事出席者6名・監事出席者2名

〈審議〉

- (1) 令和6年4月1日採用予定 職員採用試験について
(採用予定数、試験方法及びスケジュール等の決定)

7. 幼保連携型認定こども園の指導監査について(秋田県教育庁南教育事務所)

(1)指導監査場所及び日時

施設名	日 時	備 考
だしのご園	令和5年12月7日(木) 9:30	
神代こども園	令和5年12月7日(木) 13:00	
にこにここども園	令和5年11月1日(水) 9:00	
ひのきないこども園	令和5年11月15日(水) 10:00	
角館こども園	令和5年11月10日(金) 14:00	

(2)指導監査の結果(通知)

教南―1357 令和6年3月1日 文書指摘事項なし

8. 幼保連携型認定こども園の指導監査について(仙北市社会福祉課)

今年度は実施されませんでした。

9. 子ども子育て支援法に基づく特定教育保育施設の指導監査(確認監査)について (仙北市子育て推進課)

今年度は実施されませんでした。

10. 監事による監査について

(1) 決算監査 令和5年5月24日(水) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容:「令和4年度事業報告書」

「令和4年度計算関係書類、財産目録及び付属明細書」

「決算監査資料(財務諸表の相互の関係、チェックシート)」

意見:事業報告等の監査結果

「業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しており、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実とは認められない。」

計算関係書類及び財産目録の監査結果

「計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。」

(2) 定期監査 令和5年5月24日(水) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容:令和4年度第4四半期の業務執行状況及び会計処理について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

(3) 定期監査 令和5年8月24日(木) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容:令和5年度第1四半期の業務執行状況及び会計処理状況について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

(4) 定期監査 令和5年11月22日(水) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容:令和5年度第2四半期の業務執行状況及び会計処理状況について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

(5) 定期監査 令和6年2月7日(水) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容:令和5年度第3四半期の業務執行状況及び会計処理状況について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

(6) 随時監査

今年度は実施されませんでした。

11. 第三者委員関係

法人が実施する事業の利用者からの苦情及び要望に対し、客観性を確保し、利用者の立場や特性を配慮した適切な対応をするため、秋田県運営適正化委員会が主催する WEB 研修会に参加し、スキルアップに努めました。

開催日 令和5年11月29日(水) 13:30 出席者2名／委員10名 職員1名

開催日 令和6年2月1日(木) 13:30 出席者1名／委員10名 職員2名

場所:だしのこ園・角館こども園・仙北市西木庁舎202会議室

内容:苦情解決研修(初級編・上級編)

12. 資金収支決算(別紙のとおり)

令和5年度 幼保連携型認定こども園 だしのこ園 事業報告書

1. 概況報告

本園では、「やさしく げんきに たくましく」一遊びの中の学びや豊かな体験を積み重ね、子どもたちの生きる力を育むことを目標としている。

令和5年度は『心や体を動かし、楽しんで取り組むたくましい子どもの育成』を重点に、記録の仕方や子ども達が必要な経験を積み重ねていくための計画、環境の重要性などについて研修を深め、考え合い保育の充実を目指し取り組んできた。

経営の方針

① 子どもの遊びの充実

令和5年度は、子どもの夢中で遊ぶ姿をキーワードに、実践を通して環境の在り方や子どもも理解に向け取り組んできた。子どもの思いや考えに寄り添い計画性をもって取り組むことが遊びの充実につながっている。

② 保育者の研修の充実

様々な園外研修を通して職員の専門性を高め、職員で共有してきた。

園内研修では、全クラスの公開保育の実施、記録や指導計画の工夫、保育について協議を深めながら主体的な子どもの姿を目指し、全職員で研修に取り組んできた。

保育者の主体的な研修への取り組みが大きな成果となった。

③ 家庭との連携と子育て支援の工夫

一人一人の保護者との関わりを大事にし、信頼関係を築くため、子どもの園生活の様子を伝え、子どもを育てていく楽しさや成長の喜びを共有する。

子育て支援については、園開放も含めて未就園児の親子が気軽に利用できる雰囲気大切に、地域の子育て支援センターとしての役割を果たしてきた。

④ 小学校との連携と地域との交流

小学校との連携については、授業参観や保育参観、会議など計画に沿って行ってきた。感染症等で実施できなかった活動もあったが、交流も含め園と学校の連携を図っている。

地域との交流については、地域の行事に積極的に参加し、地域の人たちとの交流の機会を大事に取り組んできた。

⑤ 安全衛生の意識向上と防災教育の推進

避難訓練と安全指導は、毎月計画的に実施してきた。子どもたちは訓練を重ねることで指示に従うこと、安全に避難することなど身についてきている。事故や感染症の予防対策のほか、様々な状況を想定しての対応訓練を全職員で行うことが、安全で衛生的な環境、そして子どもの命を守るという意識につながってきている。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				3人	3人	3人	9人
2・3号認定	4人	18人	17人	10人	18人	23人	90人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	4	4	45
2・3号認定	86	86	86	86	86	86	88	88	88	89	90	90	1,049
合 計	89	89	89	89	90	90	92	92	92	94	94	94	1,094

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4月6日	新しいお友達を迎える会	入園を祝う	10月27日	親子遠足(5歳児)	鉄道体験
4月28日	交通安全教室(5歳児)	安全意識の向上	11月9日	防火パレード(5歳児)	防災・地域交流
5月12日	園外保育(5歳児)	自然体験	11月14日	中学生保育体験	中学生との交流
5月22日	内科検診		14日～16日	中学生職場体験	祖父母参観
5月23日	ネイガー交通安全教室	安全意識の向上	11月14日	内科検診	
5月24日	歯科検診		12月2日	発表会(以上児)	表現活動を楽しむ
5月27日	保育参観・保護者会総会	保護者との連携	12月5日	わんぱくフェスタ	祖父母参観
6月2日	園外保育(5歳児)	動物への関心	12月13日	人形劇観賞	言語・情緒の発達
6月12日	総合避難訓練	避難の仕方を知る	12月22日	クリスマス楽しみ会	会の楽しさを味わう
6月23日	働く車見学会	保護者会・地域活動	1月16日	園外保育(4歳児そり遊び)	雪遊びを楽しむ
6月29日	園外保育(4歳児)	戸外で体を動かす	1月17日	やま組発表会	協同的学び
6月30日	園外保育(5歳児)	科学への関心	1月19日	園外保育(5歳児そり遊び)	雪遊びを楽しむ
7月15日	夏まつり	(大雨のため中止)	2月2日	豆まき会	伝統行事を知る
7月18日	夏まつり楽しみ会	異年齢交流 小学校との連携	2月3日	保育参観(0歳児～4歳児)	成長の喜び
7月19日	1年生お里帰り		2月13日	保育参観(5歳児)	成長の喜び
8月20日	生保内地区盆踊り大会	地域との交流	2月14日	園外保育(3歳児そり遊び)	雪遊びを楽しむ
9月20日	園外保育(3歳児)	戸外で体を動かす	2月15日	母の会交通安全教室(5歳児)	交通安全の意識向上
9月30日	親子運動会	親子で運動を楽しむ	2月22日	ラート体験(5歳児)	運動への意欲の向上
10月4日	就学時歯科検診	就学への期待	3月1日	ひな祭りお茶会	伝統文化に触れる
10月5日	就学時検診	近隣の地域を知る	3月8日	お別れ会	異年齢の交流
10月6日	総合避難訓練	危機管理	3月14日	卒園式予行・祖父母参観	成長の喜び
10月13日	園外保育(4・5歳児)	自然体験	3月16日	卒園式	成長を感じ誇りをもつ
			3月21日	進級を祝う会	進級への期待
年間避難訓練・安全指導・誕生会…毎月 保護者会活動 ～ 除草作業 広報発行 親子レク					

5. 職種別職員配置状況

(令和6年3月31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医薬剤師	合 計
正規職員	1	2	16		1	1		1		22
準 職 員			7	5		2	2			16
委託職員									3	3
合 計	1	2	23	5	1	3	2	1	3	41

＊地域子育て支援事業 配置職員 2名

一時預かり事業 配置職員 2名

特別支援 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定： 8 時 30 分～15 時 30 分		早出1 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定： 7 時 30 分～18 時 30 分		早出2 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定 ： 8 時 30 分～16 時 30 分		日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
		遅出1 ： 9 時 00 分～17 時 45 分
＊保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅出2 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

- (1) 園外での職員研修は、感染症対策等で参加できなかったものもあったが、リモートも含め、今年度は、参加研修91回、延べ人数160人であった。

研修後の復命は、書面と口頭での復命をすることで、研修の確認にもなっている。

また、実技的な研修後は、他の職員へ周知及び知識の習得につなげるよう研修の伝達の機会を設けるようにしている。

- (2) 園内研修では、研究テーマを『粘り強くやり遂げようとする子どもを目指して～積み重ねよう 読み取り 記録 語り合い』とし、「子どもの夢中」をキーワードに記録の工夫や話し合いを重ね、主体的でたくましい子どもの姿を支えるための保育者の援助や環境について、考え取り組んできた。

今年度は、研修の取り組みの中間で、見直しや改善を図りながら、より深く子どもの具体的な姿を語りながら、子どもの姿を考えた指導計画の書き方についても学び合い、研修の充実につながった。

8. 学校評議員会・職員会議・委員会等実施内容

- (1) 学校評議員会…定例会議(6月・2月)、外部評価への協力
- (2) 職員会議…定例会議(毎月)、各委員会会議(随時)、行事等の会議
- (3) 給食委員会、安全指導委員会、保健衛生委員会…毎月開催
- (4) 特別支援委員会…毎月開催、専門家・支援チームにおける巡回相談(2回)、事例研修等

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

- (1) 災害訓練及び対応訓練
避難訓練・安全指導(毎月)、総合避難訓練(6月・10月)、安全点検(毎月)
職員の不審者対応訓練(1回は仙北警察署との訓練)、発電機使用の訓練
ノロウイルス・感染症対応訓練、アレルギー対応訓練、AED 訓練
- (2) 健康管理
園児：内科検診(5月・2月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)
3歳以上児聴力・視力検査
・3歳児、4歳児～聴力9月 視力8月
・5歳児 ～聴力8月 視力5月
職員：健康診断(年1回)、全職員腸内細菌検査(年2回)
給食関係者及び乳児担当者腸内細菌検査(毎月)、ノロウイルス検査(年6回)
- (3) 衛生管理
園内清掃(毎日)・保育室等消毒(週1回)、園外(動物の糞対策)、防虫等

10. 一時預かり事業

- (1) 幼稚園型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、118人。
- (2) 一般型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、74人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、担当職員2名を配置して、子育て中の保護者の交流の場として活用されている。

だしっこルーム35回、利用者は115組、延べ238人であった。

家庭で育児をしている母親たちは、地域の親子と触れ合う機会が少なく、不安やストレスを抱えがちなので、話をしたり、園の行事に参加したりすることで、親も子どもも楽しい時間を過ごせることが心の安定につながっている。

令和5年度 幼保連携型認定こども園 神代こども園 事業報告書

1. 概況報告

生きる力の基礎となる資質・能力を育てるため、子どもが主体的に遊びに取り組もうとする意欲を育むと共に、心や体を動かし、思考力や想像力が育まれる環境づくりを意識し、保育を実践してきた。また、子どもが遊びの中で経験していることを読み取ることで、行動や心情を理解し、心身の調和のとれた発達を支えるように努めた。

コロナが5類になったことで、感染予防対策はとりながら、園外保育や行事は制限等緩和して行い、子どもたちは伸び伸びと経験を重ね、楽しむことができた。また、保護者にも園行事に参加してもらうことで、子どもの育ちを感じ、共に成長を支えることへの理解が深まった。

(1) 教育・保育部門

重点目標を『試行錯誤しながらがんばる子どもの育成』とし、子どもが身近な環境に関わって、試しながら遊ぶ経験や、友達や保育者との気持ちを共有したり、協力したりしていく中で得る心情を育むため、保育者は意図して試したり、協力したりする環境の構成や関わりを心掛けた。

子どもが主体的に遊びに向かい、試行錯誤する姿や意欲を持って取り組む姿につながった。また、各年齢の育みたい力を明確にし、実践と評価に基づく指導計画の作成、改善に努めた。

(2) 給食部門

食は健やかな子どもの育成の基盤と捉え、食べる楽しみと命の尊さを伝えながら、おいしく栄養バランスに考慮した給食を提供するようにした。また、アレルギー児に対しては、家庭との連携と共に、マニュアルを順守し、安全に十分な配慮をして除去食を提供してきた。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				3人	3人	3人	9人
2・3号認定	9人	7人	13人	9人	15人	14人	67人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	0	0	0	2	2	2	2	2	2	1	1	1	15
2・3号認定	61	63	64	63	65	65	65	65	65	68	68	68	780
合 計	61	63	64	65	67	67	67	67	67	69	69	69	795

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4 月 1 日	保育始まり	進級を喜ぶ	11 月 10 日	園外保育(4・5) 秋田空港・みらいあ	航空機等に関心をもつ
4 月 6 日	入園式	入園を祝う	11 月 17 日	内科検診Ⅱ	体と健康について知る
4 月 22 日	保育参観・保護者会総会	子の成長の相互理解	11 月 29 日	発表会予行・祖父母参観	表現を楽しむ
5 月 12 日	園外保育(4・5) 農業科学館	自然に親しむ	12 月 2 日	発表会(3.4.5)	表現を楽しむ
5 月 26 日	内科検診Ⅰ	体と健康について関心をもつ	12 月 22 日	クリスマス会	季節の行事を楽しむ
5 月 31 日	さつまいも苗植え	生長を楽しみにする	12 月 26 日	人形劇鑑賞	心情を豊かにする
6 月 13 日 ～15 日	フリー参観日	子の成長の相互理解	1 月 18 日	そりすべり遠足(5)	自然に親しむ
6 月 23 日	歯科検診	歯に関心をもつ	2 月 1 日	豆まき会	日本古来の行事に親しむ
6 月 24 日	親子運動遊び(3.4.5)	親子で運動を楽しむ	2 月 7 日	そりすべり遠足(3.4)	自然に親しむ
6 月 26 日	園外保育(3)ラベンダー園	季節を感じる	2 月 7 日	保育参観日(5)	子の成長の相互理解
7 月 7 日	園外保育(4・5) ふるさと村	星や自然に関心をもつ	2 月 20 日	保育参観(3・4) 進級説明会	子の成長の相互理解
7 月 19 日	不審者対応訓練(外部指導)	危機管理	2 月 29 日	保育参観日(0・1・2) 親子音楽遊び	子の成長の相互理解 親子で音楽遊びを楽しむ
7 月 22 日	夏まつり	季節の行事を楽しむ	3 月 1 日	ひな祭りお茶会 ひな祭り会	お茶の作法を知り味わう・日本古来の行事に親しむ
8 月 下旬	視力検査	眼や見ることに関心をもつ	3 月 8 日	お別れ会	成長を喜び合う
9 月 上旬	聴力検査	耳や聴こえることに関心をもつ	3 月 13 日	卒園式予行・祖父母参観	成長への感謝をもつ
9 月 11 日	園外保育(5) 内陸線阿仁合駅	地域を知る	3 月 16 日	卒園式	卒園を祝う
9 月 20 日	園外保育(4)田沢湖	地域を知る 自然に親しむ	3 月 21 日	修了式	成長を喜び合う
9 月 28 日	園外保育(3)田沢湖	地域を知る 自然に親しむ			
10 月 7 日	運動会	運動を楽しむ			
10 月 12 日	総合避難訓練	危機管理			
10 月 18 日	さつま芋ほり	収穫を喜ぶ			
10 月 19 日	園外保育(5) 大森山動物園	動物を知り、楽しむ			

毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練は毎月実施 保護者面談(5月～6月) 保護者会環境整備(5月、7月、9月)

5. 職種別職員配置状況

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医薬剤師	合 計
正規職員	1	2	16		1	1		1		22
準 職 員			3	5		2	1			11
委託職員									3	3
合 計	1	2	19	5	1	3	1	1	3	36

*地域子育て支援事業 配置職員 2名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間 ： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定： 8 時 30 分～15 時 30 分	早出1 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定： 7 時 30 分～18 時 30 分	早出2 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定 ： 8 時 30 分～16 時 30 分	日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
* 保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間	遅 出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

オンラインと対面での研修に積極的に参加し、資質の向上に努めた。研修を通して専門性を学ぶことで職員の意識も更に高まり、保育に活かすことにもつながった。参加研修回数88回、延べ参加人数167名。

また、はなさき仙北研修会は28回開催、延べ参加人数67名。学年担任、フリー保育教諭が事例を通して子どもの姿を語ることや園内公開保育に参加することで、多様な子ども理解、保育の振り返りや気づきの機会になり、保育のステップアップになった。

(2) 園内研修

テーマを「試行錯誤してやりたいことに向かっていく子どもを目指して」とし、子どもが試してみたり、協力したりする遊びを促す環境の構成や関わり、という視点から探り、研修を進めていった。

園内公開保育を7回実施、ワークショップ型による協議を行った。

また、毎月の園内研修では年齢別、グループ別に話し合い、保育の振り返りと、よりよい援助や環境構成について研修を深めた。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議を2回。2回目は学校評価委員会を兼ねて開催した。多方面からご意見や気づきをいただき、園運営の改善につなげることができた。また、コロナが5類に移行したことで、保育参観、夏祭り、運動会、発表会予行、卒園式に参加してもらうことができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。
(メンバー構成～園長、副園長、主幹保育教諭、特別支援コーディネーター)

(4) 食育委員会

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。食育の進め方について話し合う。

(5) 安全管理委員会

毎月開催。避難訓練、安全指導及びヒヤリハット事例を基に改善策について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(10月)、安全点検(毎月)、安全指導(毎月)

(2) 健康管理

園児:内科検診(5月・11月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

尿検査、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員:健康診断(年1回)・検便(年2回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者(ノロウイルス検査6回)、乳児担当者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒(感染性の病気の流行期には毎日玩具等)

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、11 人。

(2) 一般型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、55 人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週火曜日9時30分から11時30分まで「わいわい広場」を開催した。子育て中の保護者の交流の場として活用された。

西園舎の1室が支援室となっており、低年齢児に合わせた温かみのある環境から、ゆったりと居心地よく利用する親子の姿が見られた。

また、積極的に情報を発信したり、活動内容に給食試食等工夫したりすることで、参加人数も増え、楽しんで過ごしてもらった。

33回開催。利用者人数は、延べ108人(54組)であった。

12. 園児への虐待防止に向けての取組

(1) 虐待防止マニュアル、チェックシートからそれぞれの保育行為を振り返る。

(2) 職員倫理行動基準、虐待防止規定を順守する。

(3) 園内虐待防止委員会を機能させる。

(4) 保護者・第三者・職員による保育サービス適正化委員会を開催する。

令和5年度 幼保連携型認定こども園 にこにここども園 事業報告書

1. 概況報告

はなさき仙北の基本理念や方針を心にとめて、園全体で子ども一人一人の発達や育ちを理解し、保育者も子どもと共に遊び、子ども理解を深め、健やかな成長の手助けができるように努めた。

職員は協働できる体制になっており、チームワーク良く考えを出し合い、クラス運営や園務にあたっている。

コロナウイルス感染症が5類に移行され、基本的な感染対策を取りながらの運動会や発表会等を行えるようになり、保護者からも親子の触れ合いや子どもの成長を喜ぶ声が寄せられた。

(1) 教育・保育部門

園目標を「心豊かに たくましく広がれ にこにこの輪」として、一人一人の興味、関心を探り、その子の良い面を見つけ、発達を理解しながら、内面を読み取り、子ども理解に務めた。より良い保育の環境の構成を考えながら、質の向上を目指した。

(2) 給食部門

栄養価を満たすことはもちろん、体も心も育まれるように、という願いを込めて給食を提供している。旬の食材を使い、地元の食材を使って「安全でおいしい給食」を目指している。また、アレルギー児に対しては、家庭と連携し、安全に配慮しながら、除去食を提供している。様々な経験を通して、みんなで食べる喜びや、食事への興味が持てる環境づくり・食育活動に努めている。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				2 人	2 人	2 人	6 人
2・3号認定	6 人	5 人	12 人	10 人	10 人	13 人	56 人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
2・3号認定	54	53	53	56	58	61	62	63	66	66	66	65	723
合 計	55	55	55	57	59	62	63	64	67	67	67	66	737

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4 月 6 日	入園式	入園を祝う	12 月 2 日	発表会	表現を楽しむ
5 月 26 日	園小中合同引き渡し訓練	危機管理	12 月 7 日	ミニ発表会	表現を楽しむ
6 月 6 日	さつまいもの苗植え	生長を楽しむ	12 月 19 日	不審者対応訓練	危機管理
7 月 4 日	2・3歳児保育参観	親子の触れ合い	12 月 25 日	クリスマス会	季節の行事
7 月 5 日	4歳児保育参観	親子の触れ合い	1 月 18 日	もちつき会	季節の行事
7 月 6 日	5歳児保育参観	親子の触れ合い	1 月 25 日	4 歳児保育参観	成長を喜ぶ
7 月 15 日	夕涼み会	表現を楽しむ	1 月 29 日	3 歳児保育参観	成長を喜ぶ
9 月 26 日	総合避難訓練	危機管理	2 月 1 日	豆まき会	季節の行事
10 月 14 日	運動会	運動を楽しむ	2 月 10 日	紙風船上げ	地域の行事
10 月 19 日	さつまいも掘り	収穫を喜ぶ	2 月 14 日	5歳児保育参観	親子の触れ合い
11 月 15 日	焼き芋会	収穫を喜ぶ	2 月 21 日	0,1,2 歳児保育参観	親子の触れ合い
			3 月 3 日	ひな祭り会	季節の行事
			3 月 19 日	卒園式	卒園を祝う
			3 月 21 日	修了式	成長を喜び合う
毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練 内科検診(5月、10月) 歯科検診(6月) 聴力、視力検査(12月) 園外保育～ りんごの花見,りんご狩り(果樹への関心～農業科学館) 各種公園(一丈木公園、ラベンダー園)、そり遊び 保護者会環境整備(6月、9月)保護者会研修(親子でボロリトミック 9月)					

5. 職種別職員配置状況

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医薬剤師	合 計
正規職員	1	2	13		1	3				20
準 職 員			3	3				1		7
委託職員									3	3
合 計	1	2	16	3	1	3		1	3	30

*地域子育て支援事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定	： 8 時 30 分～15 時 30 分	早出1 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定	： 7 時 30 分～18 時 30 分	早出2 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定	： 8 時 30 分～16 時 30 分	日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅 出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

幼保推進課、各保育協議会の主催による園外研修、及びキャリアアップ研修、及び仙北市主催の研修では、内容を理解し、保育実践につないでいる。

参加研修回数102回、うちオンライン研修が34回という内訳だが、意欲的に学び、保育力の向上につながっていることが、復命等からも伺えた。

はなさき仙北の研修でも、ねらいを捉えた子どもの姿に迫るエピソードの記述がされており、話し合いを深め、明日の保育に役立つヒントを得ている。延べ参加人数54人である。

(2) 園内研修

テーマを「やりたい 伝えたいがいっぱい 一緒に心を動かして遊ぶ子どもを目指して」～思いが伝わる嬉しさや心地よさを感じながら、やりたいが継続するための援助や環境の構成を考える～ とした。

各年齢の研究の視点をもとに、全学年の公開保育を行い、様々な角度から、子どもの内面を読み取り、明日へつながる保育の手立てを考えた。

また、事後検証を行うことで、さらに子ども理解が深まり、目指す学年の子どもの姿に近づくことができた。

次年度に向けては、さらに園の課題(自己評価等)を園内研修に絡め合わせたり、研修方法の可能性を探る、指導計画の書き方や見直しについての取り組みを行いたい等、研修に対する意欲が高まっている。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議を2回行う。自己評価を基に貴重な提言があり、今後の園運営につなげることができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) リーダー会議

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。
(メンバー構成～園長、副園長、主任、子育て支援、一時保育、学年リーダー)

(4) 食育委員会

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。
食育の進め方について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(9月)、不審者対応訓練(12月)、引き渡し訓練(5月)
安全点検(毎月)、安全指導(毎月)

(2) 健康管理

園児:内科検診(5月・10月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

尿検査、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員:健康診断(年1回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者、乳児担当者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型…仙北市預かり保育事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、0人。

(2) 一般型…仙北市一時保育事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、40人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週木曜日9時30分から11時30分まで「なかよしひろば」を開催した。

子育て中の保護者の交流の場として活用されている。

今年度は35回開催。利用者人数は、延べ122人(58組)であった。

令和5年度 幼保連携型認定こども園 ひのきないこども園 事業報告書

1. 概況報告

小規模な園の良さを活かし、大きな家族のような異年齢が自然に混ざり合い、全職員で全園児にかかわる園経営を行う。

また、常に年齢が混ざり合うだけでなく、年齢ごとに育まれていく経験の積み重ができるよう年齢ごとの活動を意識した環境に努める。

地域の中で大事にされている多世代の交流も積極的に取り入れ、様々な活動ができるよう心がけて過ごす。

(1) 教育・保育部門

「豊かな心もちいきいきと遊ぶ子ども」を園目標に、園の子どもの姿を話し合う中で、重点目標を「経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わうための手立てを考える」とした。

友達と関わって遊ぶことが楽しい、と思える子どもの育ちを支えられるよう、心の動きや、つぶやきを見逃さないことで、興味関心を読み取り「個」から「多」へ広がるような関わりを意識する。

子どもたちも、経験したことを年長児が中心となり、誘い合い、一緒に遊びを楽しむ姿が多くなる。

また、発達の過程を踏まえながら、子どもの育ちを家庭、地域にも発信し、共に支えて育てていく協力体制をつくっていくことを心がけてきた。

(2) 給食部門

「楽しく食べる子どもに」を目標に、食育計画を作成し、計画的に指導をしている。

毎月の献立表には、季節の食育に関する内容やレシピも載せて、家庭でも作れるよう発信している。毎日の給食展示は、SDGs により写真展示になる。

「畑栽培」では、じゃがいも、さつまいもや大根など、様々な野菜の収穫の喜びと共に、給食の食材に入れてもらったり、クッキングをしたりしながら、みんなで食べる喜びを感じると共に、食に対する関心がより一層深まる。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				1人	1人	1人	3人
2・3号認定	2人	2人	4人	4人	4人	4人	20人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
2・3号認定	16	16	17	16	16	16	15	15	15	16	16	16	190
合 計	16	16	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	193

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4月3日	R5年度始まりの会	一つ大きくなったことを祝う	11月16日	焼いも	収穫した芋を食べる
4月19日	保育参観	進級したクラスでの子の姿を見てもらう	11月21日	歯磨き指導	虫歯予防について学ぶ
5月12日	じゃがいもの種芋の植え付け	畑栽培	11月22日	不審者対応訓練	避難の仕方を知る
5月16日	さつま芋、コスモスの苗植え	畑栽培	12月5日	発表会予行 1年生参加	一年生の前で喜んで発表する。
6月6日	園外保育 3～5 歳(神岡中央公園)	公共の場でのマナーを守る	12月9日	発表会	自信をもち友達と一緒に発表する
6月19日	サッカー教室	ルールを守って体を動かす	1月29日	3歳児保育参観	成長を喜ぶ
7月7日	七夕会	季節の行事	12月12日 12月14日	高齢者との交流会 いきいきサロン ひだまりサロン	地域の方と触れ合い温かい気持ちをもつ
7月14日	園外保育3～5歳(ファミリーランド)	自然に触れて遊ぶ	12月19日	味噌作り体験	大豆をつぶし味噌の出来上がりを楽しみに待つ
7月25日	フツ化物洗口指導	歯磨きの指導	1月17日	餅つき会	伝統行事を楽しむ
7月28日	夏祭り	お祭りを楽しむ	2月2日	豆まき会	季節の行事
8月1日	小学校のプール遊び開始	4,5歳児プール遊びをする	2月10日	紙風船上げ	地域の行事に参加
8月2日	じゃがいもの収穫	収穫の喜びを感じる	2月14日	交通安全教室(5歳児)	交通安全母の会の方から学ぶ
8月31日	スイカ、かぼちゃの収穫	収穫の喜びを感じる	2月16日	保育参観・懇談会・保護者学習会	一年の成長を伝え合う。
9月1日	親子遠足(ふるさと村)	親子や友達と遊具などで楽しむ。	2月19日	小1年生との交流会(5歳児)	小学校について教えてもらう
9月5日	フリー参観	移動児童館を楽しむ。出前講座の話を聞く	2月22日	園外保育3～5歳児(田沢湖スキー場)	そり遊びを楽しむ
9月30日	親子運動会	戸外で体を思いっきり動かして楽しむ	3月1日	さき餅作り	地域のお菓子作り
10月13日	お里帰り交流会	作った味噌をつかってみそたんぽをつくる	3月11日	祖父母参観日	大きくなった姿を見てもらう
10月18日	総合避難訓練	煙囪体験をする	3月12日	お別れ会	一年を振り返り楽しむ
10月12日	サッカー教室	ルールを守って体を動かす	3月16日	卒園式	卒園を祝う
10月26日	園外保育3～5歳(農業科学館)	りんごの収穫と散策	3月22日	修了式2～4歳児	成長を喜び合う
毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練 内科検診(6月、10月) 歯科検診・尿検査(6月) 聴力、視力検査(7月) 保護者会環境整備(6月、7月、9月) 一人一人の誕生日に祝う(随時)					

5. 職種別職員配置状況

(令和6年3月31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医薬剤師	合 計
正規職員	1	1	8			1				11
準 職 員			1		1	1		1		4
パート職員 (准職員)				1			1			2
委託職員									3	3
合 計	1	1	9	1	1	2	1	1	3	20

＊地域子育て支援事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定	： 8 時 30 分～15 時 30 分	早 出 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定	： 7 時 30 分～18 時 30 分	日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
保育短時間認定	： 8 時 30 分～16 時 30 分	遅 出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分
＊保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

リモート研修のための環境が整い、開催された研修には、積極的に参加し、保育の専門性と保育の質の向上を目指した。参加研修回数は、21回で述べ28人が参加する。

また、はなさき研修会は、18回で延べ27人が参加する。

(2) 園内研修

重点目標「経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう」とし、園内公開保育、日々の保育を語り合いながら研究を進めた。

園内研修委員会を中心に深まる内容にしていくため、園内研修の前後の打ち合わせをしながら、内容がぶれないよう研修を積み重ねていく。

特別支援委員会の中では、園児の特性に合った保育を進めていくために、園全員でその方向性を共通理解していくようにした。特別支援教育研修会は、センター的機能を利用し、教育専門官の指導を2回行う。1回目の指導のもと、保育者の手立てと、個々の園児の変容する姿を伝える。今後の指導に活かすことができるよう、適切な指導・援助のアドバイスをいただく。

また、仙北市と連携し、そだれん(親子関係支援事業の子育て練習講座)に保護者2名が参加。園から職員も参加し、一緒に講座を受ける。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

学校評議員会を7月と2月の2回開催する。1回目は、保育参観と園運営全般を伝える。2回目は、保育参観と職員の自己評価や保護者アンケートの集計を基に、貴重な意見をいただき、今後の園運営の方向性を確認することができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議、行事担当者会議、特別支援委員会等(随時)
毎週金曜日に来週の打ち合わせ等を行う。

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。
(メンバー構成～園長、副園長、子育て支援、一時保育担当者)

(4) 給食委員会等、食育委員会

給食全般についての意見・情報交換と、アレルギー児の情報の共有。
食育の進め方について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 安全指導・避難訓練(毎月)、総合避難訓練、安全点検、不審者対応訓練

アレルギー対応訓練、AED訓練、消火訓練、発電機作動訓練

(2) 健康管理

園児：内科検診(6月・10月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

脊柱・運動器保険調査、尿検査(3歳以上児)、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員：健康診断(年1回)、職員全員検便(年2回)

給食関係者検便(月2回) 給食関係者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、消毒(毎日玩具等)、防虫駆除

薬剤師による検査(ダニ、騒音、採光、室温等)

職員、園児共に手洗い、うがい、手指の消毒の徹底

保護者、職員は、個人での判断のもと、マスク着用で園内の出入り

園児、保護者、職員が体調のすぐれないときは、安静を第一に感染予防に努める

10. 一時預かり事業

- (1) 幼稚園型…4月から9月は、利用者の見込みのないことから業務委託を中止していたが、10月から1号児がいたため再開する。その間の利用は無かった。

その後も、仙北市一時預かり事業業務を受託して実施しているが、利用者は無し。

(2) 一般型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施し、延べ利用者は4人である。

11. 子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置し、毎週水曜日9時30分から11時30分まで「さくらんぼルーム」を開催した。37回開催したが、利用者はいなかった。

11月は、絵本の読み聞かせの会「ケセラン・パサラン」の絵本の読み聞かせを開催する。

2月は、にこにここども園と合同で、西木庁舎の市民休憩室を会場に『一緒に遊ぼう』と称して開催。3組の参加だった。

12. 地域との連携(園・小・中の連携含む)

地域の高齢者の方との触れ合いを大事にし、上桧木内地区のいきいきサロンと松葉地区のひだまりサロンの方々との交流を行う。

冬の上桧木内地区の紙風船上げの伝統行事は、絵の制作後、地域の方の協力で、園児と一緒に組み立て完成させた。土曜日の行事であったが、それぞれの家庭で、現地まで来てくれて紙風船を上げることができた。

小学校とは、就学児が小学校へスムーズに移行できるように、園と小学校の連携事業の年間計画を作成して実施している。子ども達の交流として、1年生との交流も多く、2・3年生との交流もできた。

また、小学校の発表会予行に5歳児が招待される。

園の発表会予行に、小学1年生に来てもらい、交流の中で教えてもらったダンスと一緒に踊ることができた。

また、小学校の広いプールを借り、4・5歳児が思いっきり泳ぐことができた。

中学3年生の家庭科の授業の中で園児と触れ合う。園児も楽しい時間となる。

職員の交流は、小学校の指導主事訪問(年3回)の際、全職員が交代で授業参観をさせてもらい、協議にも参加する。

7月の園訪問(指導主事訪問)には、小学校の校長・教頭先生に、保育参観と協議に参加してもらう。

また、年度末に放課後児童クラブの方、小学校の教頭先生と一緒に情報交換を行う。

令和5年度 幼保連携型認定こども園 角館こども園 事業報告書

1. 概況報告

コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、感染対策は緩和されたが、引き続き感染予防に努めながら、様々な活動に取り組んできた。昨年度取り組むことが出来なかった近隣施設との交流も取り入れることができた。

熊出没に関する対応も必須になり、安全な環境を保障しながら活動に取り組むことの難しさを痛感しながらではあったが、園全体で保育環境を見直し、最大限にできることを探ってきた。園目標である「心豊かでたくましい子の育成」を目指し、保護者との相互理解、職員間の連携を図りながら、一人一人のありのままの姿を認め受け止めながら、安心して自己発揮し意欲と自信をもって生活できる環境づくりに努めてきた。

(1) 教育・保育部門

「子ども一人一人の興味関心の内面理解」「育ちを見通した関わりと環境構成」「様々な連続性や連携からつながっていく育ちや保育」を目指すとともに、一人一人が様々な表現で思いを伝え合い、生き生きと自己発揮する姿に視点をおき、保育環境や関わりを見直してきた。就学に向け育てたい10の姿を意識し、育ちの連続性を大事にしながら、小学校との連携も含め、園全体で共通理解を図り、一人一人の育ちを支えられるよう努めてきた。10月には、仙北市合同研修会にて、5歳児クラスの公開保育と協議、情報交換を行い、小学校との連携を強めることができた。

(2) 給食部門

食を営む力の育成に向け、その基礎を培うために、日々の生活と遊びを通して、園児が自ら食に関わる体験を積み重ねていくことを重視し取り組んできた。会話を楽しみながら、身近な人と一緒に食事をすることも可能になり、楽しい雰囲気の中で食事ができる経験も重ねられるよう工夫してきた。また、よく遊ぶことで「お腹のすくりズム」を整えたり、身近な野菜の栽培を経験したりして、より食に関心を持てる環境づくりにも努めてきた。

アレルギー児に対しては、家庭との連携を図るとともに、どの職員が関わっても、誤食することのないよう共通理解を深め、安全に配慮しながら、除去食を提供し、他児と同様に楽しい食事ができるよう配慮してきた。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				4人	4人	4人	12人
2・3号認定	15人	27人	23人	28人	30人	29人	152人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	5	5	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	77
2・3号認定	146	150	152	154	157	157	157	158	159	160	160	160	1,870
合 計	151	155	159	161	164	164	164	165	166	166	166	166	1,947

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4 月 1 日	新年度保育開始		10 月 20 日	園外保育(5)児童会館	様々な遊具に触れて楽しむ
4 月 5 日	入園式	入園を祝う	10 月 25～27 日	フリー参観	育ちの共通理解
5 月 22 日	内科検診Ⅰ(3～5歳児)	健康状態の把握	10 月 28 日	仙北市産業祭(5)	地域の行事に触れる
5 月 25 日	内科検診Ⅰ(0～2歳児)	健康状態の把握	10 月 31 日	内科検診Ⅱ(3～5歳児)	健康状態の把握
6 月 5 日	さつまいも苗植え	野菜の栽培を経験する	11 月 2 日	内科検診Ⅱ(0～2歳児)	健康状態の把握
6 月 8 日	園外保育(5)秋田空港	交通機関の仕組みを知る	11 月 6 日	園外保育(4)鉄道基地探検	交通機関の仕組みを知る
6 月 9 日	総合避難訓練	危機管理	11 月 6 日	施設訪問(5)花笑の庭	地域の施設との交流
6 月 15 日	園外保育(4)ラベンダー園	自然に親しむ	11 月 7 日	園外保育(5)鉄道基地探検	交通機関の仕組みを知る
6 月 19 日	歯科検診(3～5歳児)	歯の検個状態を把握	11 月 18 日	発表会(3,4)	様々な表現を楽しむ
6 月 22 日	園外保育(3)ラベンダー園	自然に親しむ	12 月 1 日	不審者対応訓練	危機管理
6 月 23 日	保育参観(0,2,4)	育ちの共通理解	12 月 6 日	焼き芋会	収穫物を味わう
6 月 28 日	歯科検診(0～2歳児)	歯の健康状態を把握	12 月 16 日	発表会(5)	様々な表現を楽しむ
6 月 29 日	保育参観(1,3,5)	育ちの共通理解	12 月 22 日	クリスマス会	季節の行事に触れる
7 月 7 日	七夕を楽しむ会	季節の行事に触れる	1 月 15 日	園外保育(5)田沢湖スキー場	季節の遊びを楽しむ
7 月 21 日	夏まつり(全園児)	親子で行事を楽しむ	2 月 2 日	節分の集い	伝統行事に触れる
8 月 8 日	園外保育(5)リリオス	水に触れて楽しむ	2 月 7 日	園外保育(4)田沢湖スキー場	季節の遊びを楽しむ
8 月 22 日	園外保育(5)リリオス	水に触れて楽しむ	2 月 8 日	保育参観・体験入学(5)	育ちの共通理解
9 月 8 日	小若曳き山(4,5)	地域の伝統に触れる	2 月 15 日	保育参観(0,2,4)	育ちの共通理解
9 月 22 日	引き渡し訓練	危機管理	2 月 22 日	保育参観(1,3)	育ちの共通理解
9 月 30 日	運動会(全園児)	体を動かす心地よさを味わう	3 月 1 日	ひな祭り・お茶会(5)	伝統行事に触れる 茶道を学ぶ
10 月 5 日	総合避難訓練	危機管理	3 月 13 日	祖父母参観(5)	成長を喜び合う
10 月 16 日	園外保育(3)神岡中央公園	体を動かして楽しむ	3 月 14 日	お別れ会	感謝の気持ちをもち
10 月 17 日	園外保育(4)神岡中央公園	体を動かして楽しむ	3 月 16 日	卒園式	卒園を祝う
10 月 19 日	さつまいも掘り	収穫を楽しむ	3 月 21 日	修了式	成長を喜び合う

毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練

父母の会環境整備(7月、8月)

5. 職種別職員配置状況

(令和6年3月31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医薬剤師	合計
正規職員	1	1	14		1			1		18
準職員			12	7		3	2			24
委託職員		1	6						3	10
合計	1	2	32	7	1	3	2	1	3	52

*地域子育て支援事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開園時間 : 7時30分～18時30分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定: 8時30分～15時30分	早出 : 7時30分～16時15分
保育標準時間認定: 7時30分～18時30分	8時 : 8時00分～16時45分
保育短時間認定 : 8時30分～16時30分	日勤 : 8時30分～17時15分
	9時 : 9時00分～17時45分
	遅出 : 9時30分～18時15分
	遅出 : 9時45分～18時30分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

職員全体が、満遍なく研修に参加することで、園全体の資質の向上に努めるようにした。

オンラインでの研修の仕方も身に付き、スムーズに研修できる体制が整ってきた。

研修を重ねることで視野が広がり、保育に対する知識の習得や、子どもの姿を見取る力にも繋がっていった。参加研修回数76回、延べ参加人数192名。うち、はなさき仙北研修会には延べ100名が参加し、他園と事例を持ち寄り、子どもの姿や育ちについて語り合いながら、自園の保育を振り返るとともに、次の保育へつなげていくための手がかりを探ることができた。

(2) 園内研修

テーマを「なんだろう？やってみたい！と遊びを楽しむ子どもを目指して」とし、それぞれの年齢での育ちを見通した関わりと環境の在り方を探ってきた。

園内の公開保育を通して、それぞれの学年の育ちや現状を理解するとともに、育ちの連続性を意識しながら、よりよい保育環境につながるよう園全体で共通理解を図ってきた。

一人一人が自信をもって自己発揮できるよう、自分の思いを様々な表現で伝えようとして、相手の思いに気付いたりしながら、伝え合う姿にも視点をあて、保育者の関わりを見直してきた。

様々な遊びや経験を通して、身近な人と思いを伝え合いながら関わり「やってみたい」という意欲や興味を育めるように、各学年の視点を明確にし、環境の再構成を図り、具体的な援助・関わり・計画等につなげていった。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議は3回実施し、園での取り組みについて説明を行い、その後、子どもたちが活動に向かう姿をご覧いただいた。その他、南教育事務所の園訪問における公開保育も参観していただいた。また、3月には自己評価を基に委員の方々から、園運営の改善につながる評価とご意見をいただくことができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月・※4月は2回開催)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、職員全体に周知すべきこと、行事、研修、保護者支援等、運営全般にわたり話し合う。(メンバー構成～園長、副園長)

(4) 給食委員会等

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。

嘔吐物処理の仕方やアレルギー対応についての実施訓練も行う。

(5) 安全管理委員会

毎月開催。避難訓練、安全指導及びヒヤリハット事例を基に改善策について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(6月・10月)、引き渡し訓練(9月)

安全点検(毎月)、安全指導(毎月)

(2) 健康管理

園児：内科検診、脊柱・運動器保険調査(各学年2回 5月・10月・11月)、

入園時内科検診(随時)

歯科検診(6月)、尿検査(6月)、視力・聴力検査(7月～)※3歳以上児

職員：健康診断(年1回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者(ノロウイルス検査6回)、乳児担当者(ノロウイルス検査3回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒(感染性の流行期には毎日、保育室・玩具等を消毒)

10. 一時預かり事業

- (1) 幼稚園型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、14 人
- (2) 一般型…仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、79 人

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週火曜日9時30分から11時30分まで「おひさまルーム」を開催し、子育て中の保護者の交流の場として活用された。

前年度は、他園と開催曜日が重なったことで、全体的に参加人数も少なかったため、火曜日から水曜日に開催曜日を変更して、開催したことで参加者も増加した。

「おひさまルーム通信」の発行、月～金曜日までの園開放も行い、気軽に利用できる環境づくりに努めてきた。

また、他園との交流や合同開催に向けた話し合いも行うことができ、今後の活動の幅も、より広がっていくことが期待される。30回開催。利用者人数は、延べ125人(61組)であった。

12. 園児への虐待防止に向けての取組

- (1) 虐待防止マニュアル、チェックシートから、それぞれの保育行為を振り返る。
- (2) はなさき仙北職員倫理行動基準、虐待防止規定を遵守する。